

(社)日本コンクリート工学協会四国支部  
「四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する研究委員会」

第1回委員会議事録(案)

1. 日 時：平成19年8月21日(火) 13:30~16:00
2. 場 所：ホテルニューフロンティア(3Fクローバールーム)
3. 出席者：氏家勲、松島学、加藤邦寛、草薙悟志、朝倉光司、横田優、水口裕之、納田盛資(七条浩一)、群政人、松下広、小西正、大内雅博(12名)

4. 議事

1) 委員長挨拶および委員自己紹介

2) 話題提供

アセットマネジメントに関して共通の認識を持つ目的で、牛島栄氏(株式会社ティーネットジャパン、CS事業本部、技師長)に「維持管理手法としてのアセットマネジメント」と題して、話題提供をしてもらった。

3) 本委員会で取り上げる構造物について

国土交通省四国地方整備局、愛媛県、香川県、徳島県、高知県の維持管理の状況、アセットマネジメントの例、鉄筋コンクリート構造物の塩害劣化予測モデルとその適用例及びシステム化などについて各委員から説明がなされた。

4) 今後の委員会の進め方

本委員会は年に4回程度開催し、まずは各委員からそれぞれが取り組んでいるアセットマネジメントに関する事項を紹介して貰い、それを検討する勉強会的な形式で進める。なお、本委員会の期間は2年を予定している。

5) 委員について

香川県、高知県、JR四国、四国電力、西日本高速道路からも委員として参画してもらおうよう依頼する。(香川県は松島委員、高知県は大内委員、その他は氏家が連絡をとる)

6) 次回について

11月頃(高松)を予定。愛媛県と高知県の維持管理に関する取り組みを取り上げる。

(氏家)